

系	統	2成分型ポリブタジエン系シーリング材
特	長	1) 低モジュラスであり、伸縮追従性に優れる。 2) ノンサグ性があり、垂直部分にも施工可能。
用	途	1) 伸縮装置の非排水化用目地材 2) コンクリート目地材
配	合	比 主剤：硬化剤 = 12：1（重量比）
荷	姿	5kgセット（主 剤／4.615kg、硬化剤／0.385kg） ※EJシール促進剤（別売り）：18g／ビン
外	観	性 主 剤…黒色ペースト状 状 硬化剤…褐色液状 混 合物…黒色ペースト状 状 促進剤…無色透明液状

可使時間の目安
硬化時間の目安

タイプ	通年用									
温度（℃）	5			10			20			35
EJシール促進剤(本)※	—	1	2	—	1	2	—	1	2	—
可使時間（分）	100	25	16	80	20	12	55	20	10	35
硬化時間（時間）	13	7	4	9	6	3	6	5	2	3

※EJシール促進剤は気温20℃以下で使用可能。

比	重	1.10±0.20（硬化物）
貯	蔵	EJシール：6か月（未使用、冷暗所保管） EJシール促進剤：12か月（未使用、冷暗所保管）
消	防	主 剤 指定可燃物 合成樹脂類（その他のもの） 区 硬化剤 危険物 第4類 第4石油類 非水溶性 分 促進剤 危険物 第4類 第4石油類 非水溶性
毒	物	主 剤 該当しない 取 締 法 硬化剤 該当しない 法 促進剤 該当しない
使	用	方 法 1) セット単位または、主剤、硬化剤の配合比にしたがって計量し使用する。 2) セット単位で使用する場合は、缶の天を切り、全量を掻き出して使用する。 硬化剤の添加量が不足すると硬化不良を起こす恐れがある。 3) 主剤と硬化剤が均一になるまで十分に混合攪拌する。 4) さらに、攪拌容器を換えて2回目の攪拌を行う。 5) 促進剤は、2回目の攪拌時に所定量を加え、十分に混合攪拌する。 6) フィンガーシールプライマーの指触乾燥後、EJシールを充填する。
使	用	上 の 注 意 1) 接着面の表面処理を十分に行う。（汚れ、水分の除去） 2) プライマーとして、フィンガーシールプライマーを使用する。 3) 配合比が12：1なので混合攪拌は十分行い、容器を換えての2回攪拌を行う。 4) 促進剤は、可使時間が短くなるので、2回目の攪拌時に加える。 5) 可使時間内に作業を終了する。 6) 原則として気温5℃以下、湿度85%以上、雨天時、結露時の使用は避ける。



注 意

- 健康上、注意を要する物質を含有しています。
- 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
- 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
- 詳細については安全データシート（SDS）を参照してください。